款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	1,174 千円	1,046 千円	244～245

【商工振興課】

○勤労者会館運営　　1,046 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図りました。

令和 6 年度利用状況	利用回数（回）	利用人数（人）
大ホール	2	60
中ホール	2	47
小ホール	55	828
会議室Ａ	69	637
会議室Ｂ	7	66
合　　計	135	1,638

（参考）令和　5 年度　　187 回　　1,801 人
　　令和　4 年度　　131 回　　1,563 人

【使用料収入】　令和　6 年度　899 千円
　　令和　5 年度　914 千円
　　令和　4 年度　890 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	13,306 千円	12,822 千円	244～245

【商工振興課】

○シルバー人材センター運営費補助金　　12,822 千円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助しました。

≪事業実績≫

年度	受注件数	就業延人員	受注契約額	会員数
R6	1,149 件	5,865 人	126,731 千円	227 人
R5	1,139 件	5,958 人	122,561 千円	237 人
R4	1,663 件	6,332 人	121,043 千円	242 人

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	47,339 千円	45,485 千円	244～249

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員　　定数 19 人　実数 19 人

任期　令和 5 年 7 月 20 日～令和 8 年 7 月 19 日

農地利用最適化推進委員　定数 19 人　実数 19 人

任期　令和 5 年 7 月 20 日～令和 8 年 7 月 19 日

○３か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等件数

（面積：㎡）

年度 / 種別	R4 年度		R5 年度		R6 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
３条(農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	28	40,237	48	53,050	42	67,926
４条(農地の転用…自分名義)	8	8,355	5	4,834	7	5,247
５条(農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	41	34,937	53	32,617	38	34,040

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数

（面積：㎡）

年度 / 種別	R4 年度		R5 年度		R6 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借（新規）	44	118,446	30	82,312	7	37,192
貸借（更新）	98	214,404	76	229,052	14	34,576
所有権移転（売買等）	30	54,853	29	65,528	42	57,325

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある
農業経営者（認定農業者等）支援のための法律で、
農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

◇農地中間管理機構を介した貸借申請処理件数

（処理件数）　　（面積：㎡）

年度 / 種別	R4 年度		R5 年度		R6 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借（新規）	111	278,475	171	450,027	186	445,975
貸借（更新）	12	21,031	4	7,895	137	371,036

○農業者年金業務事業　　279 千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っています。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行いました。

区　分　　年　度		R4 年度	R5 年度	R6 年度
年金受給者　　（人）		432	411	390
被保険者　　（人）		184	182	191
届出受付件数（件）	新規加入者申込	8	11	15
	死亡・脱退届受付	35	34	37
	老齢年金請求（旧制度）	5	6	10
	特例付加年金請求（新制度）	0	1	0
	老齢年金請求（新制度）	15	11	18

○機構集積支援事業　　231 千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施しました。

・農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行いました。

・農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めました。

・遊休農地面積……30.0ha（前年 20.5ha）

○農地利用最適化交付金事業　　3,229 千円

農地等の利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等）の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給しました。

委員等及び委員会の活動実績に応じた交付金　3,229 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	357,503 千円	318,837 千円	250～259

【農林課】

○雇用労力支援システム事業　　5,073 千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行いました。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がりました。

受益戸数	153 戸
利用日数	3,057 日
事 業 費	41,366 千円（うち補助対象事業費：10,146 千円）
負担割合	市：1/2、農協：1/2

○種馬鈴薯産地維持対策事業　　1,354 千円

種馬鈴薯の生産は、食用馬鈴薯の安定的な生産と供給のために不可欠であり、かつ、種苗増殖の起点となる健全無病な原原種または原種の購入は必須であることから、その購入費の一部を支援し、品質の安定化と収量の向上に繋がり、産地維持が図られました。

事業内容	植物防疫法に基づく検査に合格した原原種及び原種の種子購入に対する一部支援
作付面積	1,245a（春作 625a、秋作 620a）
補 助 率	市：1/5 以内

［種馬鈴薯生産ほ場］

［収穫風景］

○産地生産基盤パワーアップ事業　　92,788 千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援しました。

受益戸数	ほうれん草 1戸　　にんじん 8戸
事 業 量	ほうれん草(高性能被覆資材)1.06ha にんじん(収穫機 6台、播種機 4台、トラクター 6台)
事 業 費	ほうれん草 122,430 千円(うち対象事業費:111,300 千円) にんじん　　74,499 千円(うち対象事業費: 74,276 千円)
補 助 率	国:1/2

〔高性能被覆資材〕

〔自動操舵付トラクター〕

○有害鳥獣対策事業　　10,530 千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣による被害を防止するため、対策の一環として猟友会へ捕獲を委託しました。また、イノシシの田畑への侵入防止を目的としてワイヤーメッシュ（WM）柵、電気柵の整備を行いました。

事業の成果として、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がりました。

・有害鳥獣捕獲等実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カ ラ ス	WM柵等設置長
646 頭	54 頭	417 羽	824m

［イノシシの捕獲］

［WM柵］

【耕地水産課】

○土地改良区事業　　10,918 千円

土地改良区及び土地改良区が加入している合同事務所の運営基盤強化のため、運営費に対して補助を行いました。

・島原深江土地改良区　　1,904 千円

・島原市土地改良区合同事務所　　9,014 千円

（三会原土地改良区、川内土地改良区、柏野・佐野土地改良区、宇土山土地改良区、一野土地改良区の合同事業所）

○農業水利施設ストックマネジメント事業　　32,153 千円

農業水利施設の安定的な機能確保のため、施設の劣化状況等の調査に基づく対応計画の策定や対応計画に基づく予防的な保全対策に補助金を交付し、収益性及び生産効率の向上、農家の負担軽減を図りました。

・機能保全計画に基づく対策工事：島原深江土地改良区 10,753 千円

・機能保全計画策定　　：川内土地改良区　　6,800 千円

三会原土地改良区　　14,600 千円

○農業経営高度化支援事業　　99,420 千円

基盤整備事業実施地区において、地区の担い手の育成や農地集積を促進するため、地区の担い手への農地集積率に応じた総事業費の一定割合額を、農家負担（借入金）の繰上償還を行うため交付し、農家の負担軽減を図りました。

実施地区名	交付金額	補助率
三会原第 3 地区	99,420 千円	国：55%　県：45%

【農林課】

○地域計画策定推進緊急対策事業　　4,092 千円

地域農業者と協議を行いながら、農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標（目標地図）などを定め、地域が目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を策定しました。

対象地区数	農業振興地域内の 5 地区（安中、杉谷、三会、大三東、湯江）
対象地区内農用地等面積	1,792ha
事業費	4,092 千円
補助率	国：10/10

○経営開始資金　　6,750 千円

次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農直後の経営確立に資する経営開始資金を交付することにより、農業への人材の定着を図りました。

交付対象者	7 人（令和 4 年度開始分 3 人＋令和 6 年度開始分 4 人）
支援（補助）額	6,750 千円（1,500 千円×2 人＋750 千円×5 人）
補 助 率	国：10/10

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	5	農地費	556,447 千円	334,227 千円	260～265

【耕地水産課】

○県営事業費負担金　　101,612 千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第４地区）ほか６件に対し、負担金を支出しました。

（千円）

事 業 名	箇所名	事 業 内 容	事業費	負担金	小計
県営畑地帯総合整備事業（R5 年度繰越）	三会原第４地区	測量、設計、換地、区画整理、畑地かんがい	564,500	72,737	81,482
県営畑地帯総合整備事業	三会原第４地区	測量、設計、換地、区画整理、畑地かんがい	38,050	4,376	
県営畑地帯総合整備事業	中原・寺中地区	測量、設計、換地	8,700	1,044	
県営畑地帯総合整備事業（R5 年度繰越）	一野地区	測量、設計、換地	10,910	1,309	
県営畑地帯総合整備事業	一野地区	測量、設計、換地	16,800	2,016	
県営ため池整備事業（R5 年度繰越）	寺中ため池 植松ため池	改修工事	143,000	15,730	20,130
県営ため池整備事業	寺中ため池 植松ため池	改修工事	40,000	4,400	
		計	821,960	101,612	101,612

着工前

着工後

○需用費（修繕料）　　11,079 千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工　種　名	件数（件）	支出額（千円）
農道修繕	20	5,104
用排水路修繕	23	5,975
計	43	11,079

【広域農道区画線修繕】

着　工　前

竣　　工

○工事請負費　　160,534 千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。　　（単位：件数（件）、支出額（千円））

工　種　名	件数	支出額
農道改修工事 ・広域農道舗装改修工事 ・農道出口原線 A 他 1 線側溝整備工事	2	87,890
用排水路等改修工事 ・堤沢川護岸整備工事　　・深底地区ため池取水施設改修工事 ・深底ため池浚渫工事（その 2）・深底ため池浚渫工事（その 3）	4	72,644
計	6	160,534

【広域農道舗装改修工事】

着　工　前

竣　　工

【堤沢川護岸整備工事】

着　工　前

竣　　工

【農道出口原線 A 他 1 線側溝整備工事】

着　工　前

竣　　工

○原材料費　　987 千円

公図上にある農道の舗装打設や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者等が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給又は購入し、営農の効率化や安全性の向上を図り、農業経営の安定化に寄与しました。

工 種 名	件数（件）	支出額（千円）
生コンクリート	4	875
道路舗装補修材	6	112
計	10	987

着工前

竣工

〇多面的機能支払交付金　　33,783 千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付しました。

	広域組織数	面積（ha）	交付金額（千円）	負担割合（%）		
				国	県	市
農地維持支払交付金	1	715	15,206	50%	25%	25%
資源向上支払交付金（共同活動）	1	715	8,374	50%	25%	25%
資源向上支払交付金（長寿命化）	1	638	9,603	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	―	600	0%	0%	100%
計	1		33,783			

ため池の草刈の状況

景観形成活動の状況（ひまわり播種）

農道の草刈り状況

水路の補修状況

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理運営費	27,535 千円	23,083 千円	264～271

【農林課】

下記の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

○農村環境改善センター管理運営費　　4,248 千円

○有明農業者トレーニングセンター管理運営費　　1,608 千円

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費　　17,227 千円

▼利用者数　　（単位：人）

施設名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
農村環境改善センター	10,074	10,069	12,024	12,061
有明農業者トレーニングセンター	12,367	15,769	16,236	16,931
舞岳山荘	2,273	3,488	4,690	4,708
計	24,714	29,326	32,950	33,700

＜農村環境改善センター＞

＜トレーニングセンター＞

＜舞岳山荘＞

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	18,764 千円	15,362 千円	270～273

【農林課】

○松くい虫対策事業　　2,489 千円

松林を松くい虫から保護するため、被害木の伐倒駆除処理を行い、松林の健全な育成と保全に繋がりました。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事 業 量	伐倒駆除：135 本

○市有林整備事業　　1,137 千円

市有林の健全な育成と適正な管理を図るため、下刈り・枝払い等を行い、森林環境や生活環境の保全に繋がりました。

区　　分	面　積
市有林管理（下刈等）	0.54ha

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	30,493 千円	21,200 千円	272～277

【耕地水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金　　2,112 千円　　（有明漁協：673 千円　島原漁協：1,439 千円）

有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行いました。

（市補助率 75%:漁協負担金の 75%を補助）

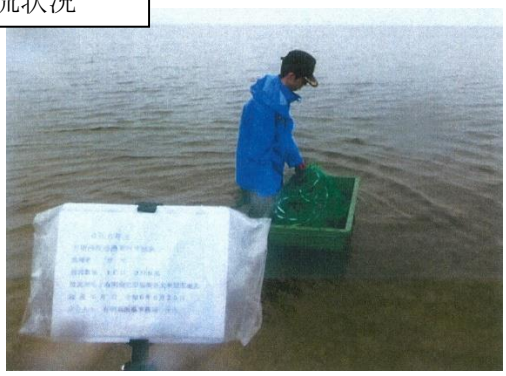
・放流実績（諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの 8 漁協合計分）

（単位：尾）

魚種	ガザミ	クルマエビ	メバル
尾数	100,000	1,450,000	20,000

メバル放流状況

ガザミ放流状況



○漁業と漁村を支える人づくり事業費補助金　　6,776 千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する研修費等を助成し、担い手の確保育成を図りました。（負担割合：県 50%、市 50%）

・漁業就業実践研修事業【新規就業者の研修費等】

【令和 6 年度実績】

研修者：6 人、指導者：3 人　6,776 千円

〇水産多面的機能発揮対策事業負担金　　2,288 千円

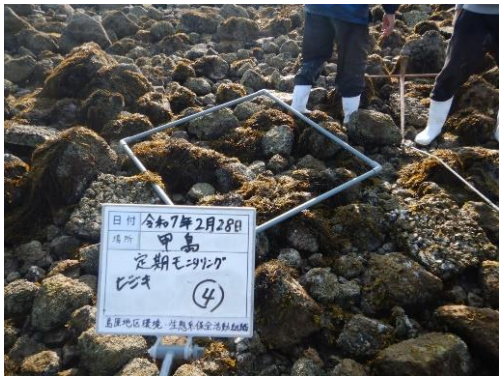
島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出しました。　（負担割合：国 14/20、県 3/20、市 3/20　※海難救助訓練は国費 100%）

（千円）

活動組織	内容及び事業費		国		県	市
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	3/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,860	1,302		279	279
	2. 干潟の保全	4,340	3,038		651	651
	3. 漂流・漂着物除去	2,790	1,953		418.5	418.5
	4. 海難救助訓練	407		407		
小計		9,397	6,293	407	1,348.5	1,348.5
有明地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,052.9	737		158	158
	2. 干潟の保全	3,631.4	2,542		544.7	544.7
	3. 漂流・漂着物除去	2,062.9	1,444		309.4	309.4
小計		6,747.2	4,723	0	1,012.1	島原市分 939.4 （雲仙市分 72.7）
合計		16,144.2	11,016	407	2,360.6	島原市 2,287.9 （雲仙市分 72.7）

島原地区ヒジキセラポラ設置

有明地区アマモ移植



島原地区ヒジキ繁茂状況

有明地区アマモ繁茂状況

○県営水産環境整備事業負担金　　2,582 千円

有明海沿岸地区において海底耕耘を実施するとともに、底質が悪い諫早湾において、耕耘と合わせ貝殻等を散布し、底質の改善に取り組むことにより、底棲生物の生息環境を改善し、漁場の生産能力向上と漁獲の増大を図りました。

県営水産環境整備事業の主な内容

・有明海沿岸地区（諫早市、雲仙市、島原市、南島原市）において、漁船を使用して、貝桁による海底耕耘作業等を実施しました。
　海底耕耘実施面積　17 ㎢、測量試験 1 式
　事業費　148,995 千円
　（負担割合：国 50%、県 45%、市 5%）

島原市の負担金算出方法

・事業費×5%（4 市負担金割合）×（島原市の作業船：690 隻／4 市の作業船：1991 隻）
＝148,995,000 円×5%×690／1991 隻＝2,581,780 円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	3	漁港管理費	161,828 千円	102,094 千円	276～279

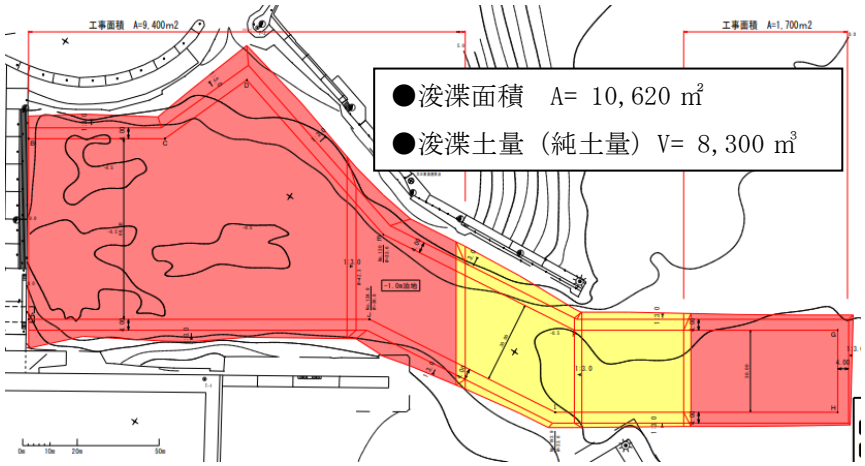
【耕地水産課】

○水産物供給基盤機能保全事業　　88,032 千円

水産物供給基盤機能保全事業基本計画に基づき、漁港機能の安全確保と延命化を図るため、大三東漁港の泊地浚渫工事を行いました。

【事業概要】

・大三東漁港水域施設機能保全工事（浚渫工事）　88,032 千円
・工期　令和 6 年 3 月 29 日～令和 6 年 10 月 31 日（債務負担行為による事業実施）
・事業期間　　令和 6 年度
・全体事業期間　令和 5 年度～令和 6 年度
・全体事業費　　118,943 千円
・補助率　　国 1/2



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	174,940 千円	163,649 千円	278～287

【商工振興課】

○中小企業振興利子補給等補助金　　60 千円

市内中小企業に利子補給及び保証料補給を行い、経営の改善と産業の発展に寄与しました。

補助件数　　１件

内訳…中小企業振興資金：１件

○島原城大手門市　　1,801 千円

島原市役所大屋根広場、周辺商店街及び島原駅一帯を中心とし、島原城築城 400 年関連イベントと連携した企画を実施し、島原城や地域を巻き込んだ物産市を開催することにより中心市街地の活性化に寄与しました。

- ◆ イベント名：島原城大手門市
- ◆ 開催期間：令和 6 年 10 月 12 日（土）～令和 6 年 10 月 13 日（日）
- ◆ 実施主体：島原城大手門市実行委員会
- ◆ 来場者数：約 14,000 人（2 日間累計）
- ◆ 出店者数：118 店舗（2 日間累計）

○企業誘致活動事業　　1,418 千円

企業誘致候補地や空き工場、空き店舗などの物件への企業立地として、県並びに県産業振興財団との連携のもと、製造業企業や IT 関連などのオフィス系企業へ訪問を行うなど誘致活動を行い、製造業企業１件の立地を行いました。

○サテライトオフィス等開設支援事業　　593 千円

令和 3 年度に本事業によって開設したコワーキングスペースの運営事業者へ、建物の賃借料並びに通信費に対する補助を行いました。

○企業立地促進・雇用創出事業　　893 千円

市外製造業（製麺業）の企業立地に伴い、指定された事業者に対する奨励金の交付を行い、当該事業所による新たな雇用が 7 人創出され、本市での雇用確保に寄与しました。

また、情報サービス業を営む地元企業に対し、事業所「増設」による雇用増加（8 人）などを含む事業計画に関する指定を行いました。

（千円・人）

業種	投下固定資産額	新規雇用者数	奨励金種別				年度計
			立地	施設整備	土地家屋賃借	雇用	
製造業（1 件）	28,567	7	0	831	0	0	0
情報サービス業（1 件）	10,775	8	0	0	0	0	0

■支援メニュー

立地奨励金	取得した固定資産額にかかる固定資産税相当額を３年間補助（改修の場合は対象外）
施設整備奨励金	投下した固定資産額（土地代を除く）の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率（5%～10%）を乗じた額を補助 ※限度額　1 億円（改修の場合 2 千万円）
土地家屋賃借奨励金	土地・家屋賃借料の 25%を 3 年間補助　※限度額 1 千万円／年
雇用奨励金	新規雇用した人数に対する補助 ・正規雇用者×50 万円／人　・短期雇用者×25 万円／人 ※限度額　5 千万円

○雇用拡大支援事業　　2,050 千円

市内の事業所に就職した新規学卒者やＵＩターン者（若者）に対する支援を行い、若者の定住を促進しました。

新規学卒者　7 人　　Ｕターン者　10 人　　Ｉターン者　7 人　　合計 24 人

○創業支援等利子補給事業　　401 千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図りました。

補助件数　13 件

○令和６年度島原市プレミアム付商品券発行事業　　89,540 千円

円安や原油高等における物価高騰によって影響が出ている消費者を支援するため、プレミアム付商品券を発行し、消費支援及び消費喚起を行うことで市内経済の活性化を図りました。

○商品券

・額　　面　：１冊　1,000 円券　5 枚綴（額面 5,000 円、販売 3,000 円）

・発行ｾｯﾄ数：40,000 セット（うち販売セット数：39,930 冊）

・有効期間　：令和 6 年 7 月 21 日～令和 6 年 9 月 30 日

・発 行 者　：島原商工会議所、有明町商工会

○登録店

・378 店舗

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	3	観光費	411,925 千円	271,839 千円	286～297

【しまばら観光課】

○観光宿泊施設支援事業　　11,952 千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝ＰＲや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行いました。

○島原城築城 400 年武将隊 PR 事業　　11,737 千円

演舞披露、情報発信、ＰＲ活動などを行い、城下町島原のイメージ定着化を目指しました。

新商品開発やＰＲグッズの開発、また、令和６年は島原城築城 400 年の年で、１年を通して多くの催しを行ったことで、島原城の入場者数は約 222,000 人と前年度より約 17%増加しました。

島原城内での武将隊による観光客へのおもてなしは、大変好評であり、島原での旅の満足度向上に寄与しました。

○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業　　4,000 千円

国登録有形文化財「旧三村家(湧水館)」を活用し古民家喫茶事業を行うことで、観光客は館内でゆっくりと時間を過ごすことができ、滞在時間の延長及び観光消費額拡大を図りました。

令和６年度入館者数と運営収入

入館者数	20,811 人
喫茶事業（店内、テイクアウト）	10,786,100 円
かんざらし手作り体験教室	219,800 円
物販	370,024 円

○島原市スポーツキャンプ等誘致補助金　　4,105千円

交流人口の増加による観光振興や地域の活性化を図るため、プロサッカーチームやフェンシング国内強化指定選手、陸上チームのキャンプをはじめ、全国大会等の各種スポーツ大会を誘致しました。

（キャンプ）　　（人）

種　　目	参加者数	延宿泊者数
サッカー（プロサッカー　ほか）	586	1,656
フェンシング（日本代表チーム　ほか）	440	363
野　球（高校　ほか）	93	187
陸　上（実業団）	8	24
その他（弓道、テニス、バドミントン）	117	231
合　　計	1,244	2,461

（大　　会）　　（人）

種　　目		参加者数	延宿泊者数
サッカー	高円宮杯JFA U-18プリンスリーグ（全15回）	2,584	48
	九州大学サッカートーナメント大会	360	297
	サマーカップU-18サッカー大会ｉｎ島原	351	458
	大学サッカーサマーカップin島原	351	423
	九州大学サッカーリーグ1部・2部後期開幕	720	658
	2025 V・VAREN Nagasaki Fes U-15	384	664
	KJ CUP	1,000	358
	大学サッカーフェスティバルin島原	421	1,734
	医学部大学サッカーフェスティバル in 島原	150	65
	島原U-17サッカーチャレンジカップ	264	503
	しまばらパイオニアトーナメント2025	250	201
フェンシング	2024 フルーレランキングマッチ　島原大会	600	369
	2024年全九州フェンシング選手権大会	421	136
	IDS諫早自動車学校杯	100	22
	全国高等学校選抜フェンシング大会	1,000	1,759
野球	西日本中学硬式野球島原大会	360	624
サイクル	イッキ！しまばらハント！	81	24
合　　計		9,397	8,343

▲ギラヴァンツ北九州キャンプ　▲西日本中学硬式野球大会　▲全国高校フェンシング大会

〇大会・会議等誘致奨励金　　3,820 千円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図りました。

区　　分	件数（件）	延宿泊者数（人）	金額（千円）
島原市大会・会議等誘致奨励金	48	17,906	3,820

〇九州オルレ「島原コース」推進事業　　5,742 千円

九州オルレ「島原コース」のコース整備やイベント等による利用促進を行い、交流人口の増加を図りました。

また、「訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金」を活用し、韓国市場向けの動画とパンフレットを作成して商談会に参加し、「島原コース」の PR を行いました。

・コース利用者数　4,040 人（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）
・５周年記念イベント（参加者数：194 人　令和 7 年 2 月 23 日開催）
・コース階段修繕　2,884 千円

「コース階段修繕」

「５周年記念イベント」

〇島原城築城 400 年記念事業実行委員会補助金　　59,489 千円

島原城が築城 400 年を迎え、島原城や城下町の歴史、文化を振り返り、新たな文化や魅力を創出し、次世代に伝承するための事業を実施しました。

・特別企画展「高来華」の世界～歴代藩主の墨蹟～（令和 6 年 6 月 8 日～7 月 7 日開催）
・島原城一斉清掃（令和 6 年 9 月 28 日開催　参加人数：約 600 人）
・特別企画展「松倉重政と島原城」（令和 6 年 9 月 29 日～11 月 4 日）
・島原城薪能（令和 6 年 10 月 5 日開催　来場者数：約 950 人）

・しまばら江戸まつり（令和 6 年 10 月 12 日・13 日開催　来場者数：約 16,000 人）
・島原藩ゆかりの地物産展、島原城マルシェ、島原半島ジオ・マルシェ、
　ブルーインパルス展示飛行（令和 6 年 10 月 19 日・20 日開催　来場者数：約 100,000 人）
・島原城築城 400 年記念シンポジウム
　（令和 6 年 10 月 19 日・20 日開催　来場者数：約 1,200 人）
・島原藩ゆかりの地サミット（令和 6 年 10 月 20 日開催　来場者数：約 800 人）
・島原城プロジェクションマッピング
　（令和 6 年 12 月 24 日～令和 7 年 1 月 11 日実施　来場者数：10,024 人）
・島原城茶会（開催数：5 回　参加人数：572 人）
・島原みらいキャンパス（開催数：3 回　参加人数：122 人）ほか

「ブルーインパルス展示飛行」

「島原藩ゆかりの地サミット」

〇島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料　　0 円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設（鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」）を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図りました。

令和 6 年度においては、島原城築城 400 年記念事業効果により、利用者数及び運営収入が増加し、指定管理料 0 円が実現できました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
R6	0	131,961	32,324	20,811	30,868
R5	22,600,000	119,925	34,750	19,355	33,007
R4	41,200,000	73,041	22,432	13,187	29,181
R3	55,000,000	68,873	26,193	6,900	18,411
R2	20,000,000	59,340	23,313	6,376	15,148

○浜の川湧水観光交流施設指定管理料　　0円

本市特有の観光資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化及び滞在時間の延長と交流人口の拡大を図るため、令和3年度から管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

令和6年度においても、指定管理者の経営努力により、指定管理料0円が実現できました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）
R6	0	27,633
R5	0	27,965
R4	0	23,161
R3	1,400,000	19,598
R2		19,076

○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料　　28,857千円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）
R6	28,857,000	69,740
R5	24,000,000	69,641
R4	29,000,000	62,934
R3	23,000,000	52,581
R2	20,000,000	55,114

○島原城整備事業　　3,179千円

島原城西の櫓の景観整備を図るため、外壁及び屋根改修工事の設計業務を実施しました。

また島原城天守閣空調設備工事の実施に向けて、設備設計の単価入替え業務を実施しました。

事業名	金額（円）
島原城西の櫓外壁及び屋根改修工事設計業務委託	2,805,000
島原城天守閣空調工事設備設計単価入替え業務	374,000

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	15,447 千円	13,471 千円	296～299

【商工振興課】

○特産品ＰＲ催事事業費　　1,187 千円

（ホームページ管理活用事業、特産品認定・催事支援事業）

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・ＰＲを行いました。また、福岡市でのマルシェ開催のほか、兄弟姉妹都市での物産展等への参加も行いました。

・物産展等開催・参加回数　6 回（東京都内・福岡市・豊後高田市・福知山市・幸田町）

・延べ出展事業者数　　16 事業者

関東しまばら会
「ふるさと特産品コーナー」

福岡大丸
「～島原城築城 400 年記念～しまばらんマルシェ」

○特産品流通促進事業費　　11,000 千円

（商談会等開催事業、島原産品プロモーション事業）

良質な島原の地場産品・特産品を、都市圏をはじめ、より多くの地域の方々へ消費してもらえるよう、一般社団法人離島振興地方創生協会に業務を委託し、ブランディング・情報発信の強化、販路拡大・販売力及び物流の強化のために、来島した各企業のバイヤー等と地元生産者が直接面談し、アドバイス等を行い、販路拡大に繋がりました。

・市内 39 事業所を訪問し、8 事業所のプロジェクトが進行中。

事業者との協議

現地調査

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	34,595 千円	31,733 千円	298～301

【商工振興課】

〇有明の森フラワー公園管理経費　　31,733 千円

市民の休養・憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園は、令和 5 年度から直営（令和 5 年 11 月からは物産館を開館）により花木の管理を行い、物産館では地元特産品の紹介と販売を行いました。

・R6 利用者 約 40,800 人

有明の森フラワー公園

＜花カレンダー（見ごろの時期）＞

花の種類	開花時期
菜の花	3 月～4 月
桜	4 月
パンジー・デージー	4 月
サルビア	5 月～11 月
マリーゴールド	5 月～11 月
コスモス	10 月